

全建発第29～181号
平成29年 9月15日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石久和

印省略

第638回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等の自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性向上）など、時代の要請に応えた施策の展開を図っていくことが重要となっており、国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第638回建設技術講習会では、これからの公共事業の展開、公務員技術者の今後の役割、地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進、これからの社会資本の品質確保とi-Construction（建設生産性革命）、i-Constructionの取り組みなどについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第638回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。
本協会では、平成29年11月29日(水)～12月1日(金)、岐阜市において標記講習会を開催いたします。
この講習会では、これからの公共事業の展開、公務員技術者の今後の役割、地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進、これからの社会資本の品質確保とi-Construction（建設生産性革命）、i-Constructionの取り組み、ストック効果などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。
なお、本講習会は岐阜県・岐阜市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
岐阜県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
岐阜県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません
※30歳未満の正会員及び地元割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません
※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：6,800円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「638」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成29年11月10日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

① 平成29年11月17日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
② 平成29年11月24日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8.5単位/3単位、CPDS：(未定)/4ユニット

講習会情報については、全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

第638回建設技術講習会(これからの公共事業と建設技術者のあり方) 日程

～公共事業が抱える諸課題と今後の事業の展開、公務員技術者の役割、i-Constructionの推進、 資本整備の中長期的な品質確保と新たな技術研究開発推進の動向などを学ぶ～

- ・これからの公共事業の展開について
- ・公務員技術者の今後の役割について
- ・地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進について
- ・これからの社会資本の品質確保とi-Construction(建設生産性革命)について
- ・i-Constructionの取り組みについて

会場 …… じゅうろくプラザ(2階 ホール)
〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-11 TEL058-262-0150(代)

(1日目) 開場11:40	平成29年11月29日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ	岐阜県知事 岐阜市長 (一社)全日本建設技術協会 会長	古田 肇 細江 茂光 大石 久和
13:00 } インフラの整備と経済成長 14:30 ~全建会員がもつべき知識~	(一社)全日本建設技術協会 会長	大石 久和
14:40 } これからの社会資本マネジメントに関する取り組み 15:40 について	国土交通省大臣官房技術調査課 課長	石原 康弘
15:50 } 【地域事業の紹介①】 16:20 東海環状自動車道建設事業について ~軟弱地盤対応、ストック効果など~	国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 所長	依田 秀則
16:20 } 【地域事業の紹介②】 16:50 岐阜公園三重塔の修復整備について ~建立から約100年を迎える国登録有形文化財の半解体 修理~	岐阜市都市建設部歴史まちづくり課 主任技師	波能 麻里
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (17:30~19:00(予定))		ラ・ローゼ・プロヴァンス (じゅうろくプラザ1階) TEL058-262-0156
(2日目) 開場 9:00	11月30日(木)	(敬称略)
9:40 } 経済・社会システムのイノベーションを創出する 10:40 道路	筑波大学名誉教授・特命教授	石田 東生
10:50 } 未来を拓くリーディング・プロジェクト 11:50 ~JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 提言から~	(公財)日本道路交通情報センター 副理事長 大阪工業大学 客員教授	藤本 貴也
13:00 } 【地方自治体の取り組み】 14:00 岐阜県におけるMEを活用した道路の維持管理の 取り組みについて	岐阜県県土整備部道路維持課 課長	奥田 雅之
14:10 } 激甚化する最近の自然災害について 15:10	国土交通省水管理・国土保全局防災課 緊急災害対策企画調整官	吉田 邦伸
15:20 } 中部地方整備局における取り組みについて 16:20 ~人材育成と新技術活用の取り組み~	国土交通省中部地方整備局企画部 技術調整管理官	犬飼 一博
16:20 } 閉会のあいさつ	岐阜県建設技術協会会長 (岐阜県県土整備部長)	宗宮 裕雄
(3日目) 集合 8:30~	12月1日(金) 【現場研修】	

じゅうろくプラザ前(9:00) 出発

- 東海環状自動車道建設事業(ICT土工)・道の駅「パレットピアおおの」整備工事(下車説明)
- 岐阜公園再整備事業(三重塔修復整備)(下車説明) → 昼食(岐阜市内)
- 岐阜大学インフラミュージアム(下車説明) → JR岐阜駅(15:40)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度・CPDS認定プログラム(予定) 【聴講/現場】全建:8.5単位/3単位、CPDS:(未定)/4ユニット

第638回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1-1. 東海環状自動車道建設事業（ICT土工）…………… 岐阜県揖斐郡大野町～安八郡神戸町^{ごうど}

国道475号東海環状自動車道は、名古屋市の周辺30～40km圏に位置する愛知・岐阜・三重3県の豊田・瀬戸・土岐・関・岐阜・大垣・四日市等の諸都市を環状に連絡し、新東名・新名神高速道路、東名・名神高速道路や中央自動車道・東海北陸自動車道等と広域的なネットワークを形成し、今後30年間に震度6強クラスの地震に見舞われる確率の高い地域を迂回しており、災害時における人命救助や物資の緊急輸送道路として機能する延長約160kmの高規格幹線道路です。



現在、東回り区間（豊田東JCT～関広見IC）と西回り区間の一部（大垣西IC～養老IC、東員IC～新四日市JCT）の延長約87kmの区間が開通し、残る西回り区間（関広見IC～大垣西IC、養老IC～東員IC）について、鋭意施工を進めています。

東海環状自動車道では、生産性が高く魅力的な新しい建設現場を創出することを目的としたi-ConstructionとしてICT土工に取り組み、効率的に事業を実施しています。

1-2. 道の駅「パレットピアおおの」整備工事…………… 岐阜県揖斐郡大野町

平成31年度開通予定の東海環状自動車道「大野・神戸IC」近くに、平成30年7月の開業を目指し、道の駅「パレットピアおおの」を整備しています。



この道の駅は、広く揖斐郡全体の玄関口としての役割を果たすとともに、大野町の魅力や観光情報等を発信し、町の農産物や特産物の販売、地元食材を使用したレストランやカフェなどを設置

するなど、東海環状自動車道開通の効果を活かして広く地元をPRし、地域活性化を図ることを目的としています。また親子で交流や子育ての相談ができる「子育て支援施設」を設置することとしています。

なお、大規模災害時には、県の広域防災拠点として自衛隊・警察等の活動拠点として活用することとしています。

2. 岐阜公園再整備事業（三重塔修復整備）

..... 岐阜市槻谷

岐阜公園は、織田信長公の戦国時代の政治拠点であったことや近代の公園整備等の歴史を伝える重要な地であることから、その歴史的価値を次世代に継承するため、岐阜市では再整備事業を進めています。

岐阜公園三重塔は、平成17年に国登録有形文化財に登録され、また平成25年に岐阜市の歴史的風致形成建造物、平成27年に国重要文化的景観における重要な構成要素とされるなど、その価値が広く認められているところですが、建立から約100年が経過し、老朽化が著しく進んでいました。

そこで、再整備事業の一環として、約2年半をかけて、塔の柱の一部を残して解体し、組み立てる修復整備工事を行いました。修復にあたっては、歴史的な文化財の保存を念頭に、解体部材を極力再利用し、損傷箇所の補修、復原を行い、また、今後永きにわたり後世へ残す文化的資産として、構造解析を行った上、必要な構造補強を施しています。

今後、岐阜公園のシンボルのひとつとして市民に長く親しまれてきたこの三重塔を活用しながら、引き続き、公園が持つ歴史的な価値を伝えると共に、憩い・学習・交流等の拠点となる本格的な歴史公園へと再整備していきます。



3. 岐阜大学インフラミュージアム

..... 岐阜市柳戸

国立大学法人岐阜大学では、土木建造物の建設過程を学ぶ「インフラミュージアム」を設置しました。

長さ15mのコンクリート橋（PC）、鋼橋の桁、トンネルの断面が完成しております。通常見えない部分をあらわにするなど、見せ方にも工夫しています。例えば、トンネルは輪切りにして横倒しとし、「矢板工法」と「NATM工法」を同時に見られるように設置してあります。

教材用の古い橋などの公開展示は多々ありますが、このような新設の建造物を展示した例としては、他に類のないものです。

さて、建造物の維持管理について学ぶには、このインフラミュージアムの建造物を教材とすることは、大変有効です。

建造物の維持管理には、その建造物をよく知ることが欠かせません。特に、社会基盤建造物には、なぜそこにその形状で存在し、なぜその設計なのか等を知っておくことが重要です。新設時から現在の状態を理解し、今後どのように変化するか予測できるため、適切な維持管理の大きな支援となります。

岐阜大学では、岐阜県、建設業関連団体と連携し、平成20年より社会人土木技術者を対象とした「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座」を開講しています。主に道路に関する社会基盤施設の維持管理について高度な技術と知見を身につけてもらうことが目的です。

インフラミュージアムは、ME養成講座においても、また岐阜大学学生にとっても生きた教材です。なお、土建造物（盛土）については、12月完成予定です。



第638回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には岐阜市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成29年11月28日(火), 29日(水), 30日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
岐阜ワシントンホテルプラザ	岐阜市神田町7-7-4 TEL058-266-0111	シングル	40名	7,280円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第638回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成29年11月29日(水) 17:30～19:00(予定)
(第638回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：じゅうろくプラザ1階「ラ・ローゼ・プロヴァンス」(予定)
※講習会会場と同じ建物です。

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。

※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|--------------------------|----------|
| ・(一社)全日本建設技術協会 会長 | 大石 久和 |
| ・筑波大学システム情報系社会工学域 教授 | 石田 東生 講師 |
| ・(公財)日本道路交通情報センター 副理事長 | 藤本 貴也 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 課長 | 石原 康弘 講師 |
| ・国土交通省中部地方整備局企画部 技術調整管理官 | 犬飼 一博 講師 |
| ・国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所 所長 | 依田 秀則 講師 |
| ・岐阜県県土整備部道路維持課 課長 | 奥田 雅之 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第638回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）申込書

<個人情報の取扱いについて>
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般(非会員)	会員	正会員 30歳未満			予約日に○を記入して下さい		
							11月 28日	29日	30日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)						↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※	宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。			
現場研修料 名×6,800円＝ 円										
計 円										

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。